



特集

この夏、九州大会やインターハイに挑んだ
松浦のトップアスリートたち

スポーツの夏。

この夏も市内の中学生や高校生が

大きな活躍を見せました。





御厨中学校野球部

- 監督 田中亮太郎
- コーチ 川上利幸
- 主将 久家伸也
- 部員 31人

01【九州中学校体育大会出場】 軟式野球

7月23日～25日、長崎市総合運動公園かきどまり野球場で開かれた県中学校総合体育大会軟式野球。御厨中学校野球部は、2回戦からの出場でした。

2回戦で広田中（佐世保市）を6-4、準々決勝で片淵中（長崎市）を4-1と、いずれも見事な逆転劇で勝利をものにしました。準決勝では中里中（佐世保市）に2-0と完封勝ち。決勝は大野中（佐世保市）と対戦し、延長10回、5点差をはね返す劇的な逆転サヨナラ勝ちを収め優勝。先取点を取られても決して諦めず1球1球を大切にしてきた同校野球部が、軟式野球において、郡市対抗から学校対抗に制度が変わった昭和61年度以降初めてこの松浦に優勝旗を持ち帰ってきました。

九州大会は、長崎市総合運動公園かきどまり野球場などで開かれました。御厨中は8月5日、沖縄県代表の宮古島市立北中と対戦。御厨中は、北中のヒット数4本を上回る5本のヒットを放ちましたが、惜しくも初戦で敗退しました。しかし、九州大会開会式での御厨中の入場行進は、他チーム保護者や観客、関係者から絶賛され、久家主将の選手宣誓は、長崎県中体連軟式野球専門部長をはじめとする関係者から「これまでで最高の選手宣誓だった。ありがとう」と言われるほどの立派なものでした。試合では1回戦で敗退したものの、その試合に臨む姿勢は優勝にも勝るものがあり、多くの人に感動を与えてくれました。